

【全年次】

進路決定率過去最高の 89% を記録 《報告》昨年度の進路決定状況について

新入生のみなさん、ご入学おめでとうございます。また、進級したみなさんも気持ちを新たに、就労体験や資格取得等、様々なことにチャレンジしてみましょう。

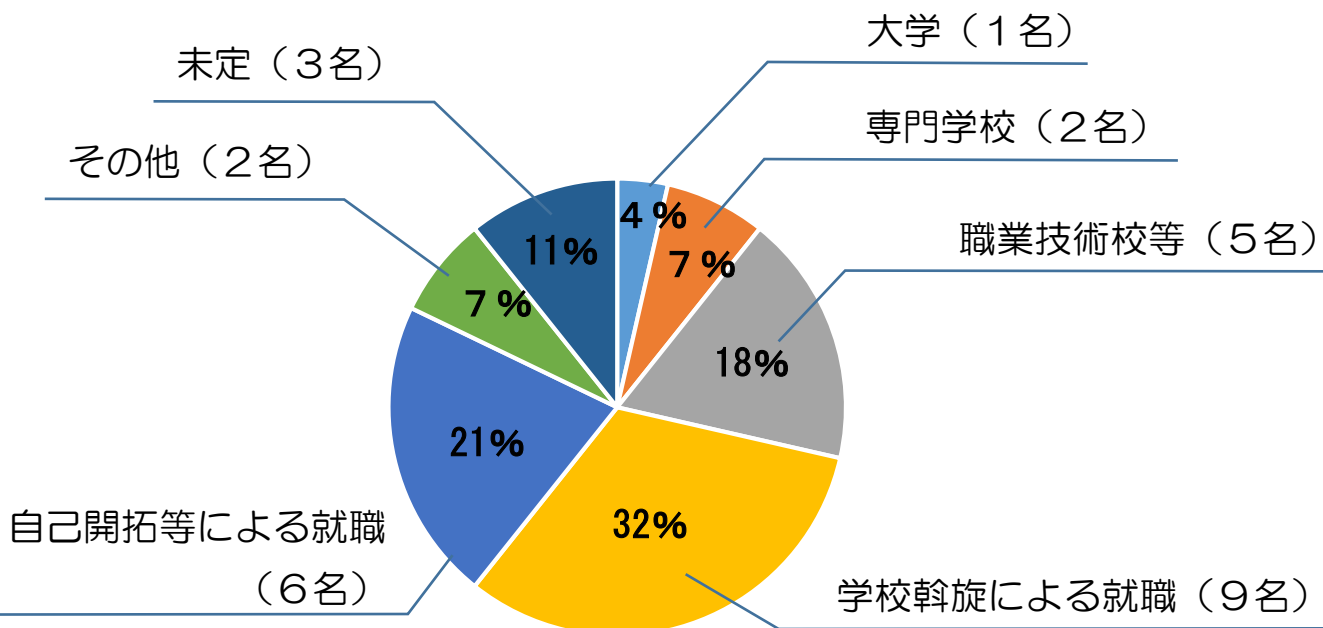
平成 30 年度の進路決定状況について報告をします。(平成 31 年 3 月 25 日現在)

注目すべき点は卒業生の 89% が進路を決定して卒業することができたことです。これは、記録が残る過去 5 年間のなかで最も高い決定率を示しています。



平成 31 年 3 月 8 日 卒業式会場 (写真・左)、4 年次ホームルームの様子 (写真・右)。4 年のホームルームには他校に異動した先生もお祝いに来てくれました。「進路の決定」と「卒業式」を目指して在校生の皆さんも頑張りましょう。

〔 進路の状況 〕



(1) 進学〔大学・専門学校〕 合計 11%

「ものづくり大学技能工芸学部建設学科」に1名進学しました。合格した卒業生は高校に入学した直後からこの大学に興味をもち、オープンキャンパスなどに積極的に参加していました。専門学校は調理師を目指す卒業生2名が進学しました。

(2) 職業技術校等〔県立産短大・かなテク・能力開発センター〕 合計 18%

「神奈川県立産業技術短期大学校制御技術科」に公募推薦で1名入学しました。「県立職業技術校（かなテク）」は3名入校し、うち1名は在学中のダブルスクールです。また、初めて「職業訓練法人 神奈川能力開発センター」に1名入校しました。神奈川能力開発センターは知的障害者の訓練機関で、療育手帳等の交付を受けていること等が応募条件となっています。

(3) 就職〔学校斡旋・自己開拓等〕 合計 53%

卒業生の半数以上が就職を選び、ほとんどの生徒が無事に内定をいただくことができました。本校定時制は「総合学科」であり、他校の総合学科や普通科と同様に、在学中に専門的な技術を身に付けることが難しく、就職が思うようにいかない場合があります。そのような困難な状況のなか、学校斡旋による就職活動に参加した多くの生徒が早い段階から就職活動に取組み、資格取得や面接対策に力を入れたことから、大きな成果を上げたと考えています。なお、自己開拓等による就職は在校生自らが親せきや知り合いの紹介を受けて就職することを言います。

(4) その他〔進学準備・その他〕 合計 7%

進学費用の準備を目的とした進学準備等により卒業生2名がその他となっています。

(5) 未定〔未定（アルバイト等を含む）〕 合計 11%

進路未定、アルバイトを希望等の卒業生が3名となっています。

※1 平成31年3月25日現在のデータをもとに作成しています。

※2 平成30年度の卒業生は27名です。ただし、神奈川県立東部総合職業技術校1名のダブルスクールは二重計上で計算しています。

「ふりがな」つきは裏面へ^{りめん}